



2022年6月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2022年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 キュービーネットホールディングス株式会社

コード番号 6571 URL <http://www.qbnet.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 泰男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 修

TEL 03-6418-9190

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期第2四半期の連結業績(2021年7月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第2四半期	10,178	9.4	804	124.6	727	172.6	493	115.5	493	115.5	550	183.2
2021年6月期第2四半期	9,300	△16.3	358	△70.5	266	△76.7	228	△69.9	228	△69.9	194	△75.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第2四半期	38.39	36.88
2021年6月期第2四半期	17.95	17.16

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年6月期第2四半期	30,896	10,737	10,737	34.8
2021年6月期	30,634	10,156	10,156	33.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年6月期	—	0.00	—	—	—
2022年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2022年6月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定といたします。

3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日~2022年6月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,840	10.1	1,100	137.3	920	221.2	640	162.4	640	162.4	49.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年6月期2Q	12,874,000株	2021年6月期	12,820,900株
② 期末自己株式数	2022年6月期2Q	123株	2021年6月期	123株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年6月期2Q	12,852,251株	2021年6月期2Q	12,757,372株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しており、当社ウェブサイトにも掲載いたします。また、2022年2月21日に決算説明動画を当社ウェブサイトにて配信する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年7月1日～2021年12月31日）は、新型コロナウイルス感染症（以下、「本感染症」という。）の影響が長期化する中、当社グループでは、万全の感染防止策を講じながら店舗運営を行ってきました。

売上収益は、引き続き本感染症の影響を受けつつも、前年同期に比べ877百万円増加し、10,178百万円となりました。各国の本感染症の状況及び売上収益への影響は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年7月1日 至 2020年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年7月1日 至 2021年12月31日）	増減額	増減額 （為替影響 除く）
国内	7,747	8,465	717	—
海外	1,553	1,712	159	40
香港	845	947	101	44
シンガポール	403	421	17	△12
台湾	260	254	△5	△34
アメリカ	44	90	46	42
連結	9,300	10,178	877	40

（注）グループ会社間の内部取引控除後の金額を表示しております。

<国内>

2021年7月から9月まで緊急事態宣言が発令されておりましたが、感染防止策・衛生管理を徹底した上で営業を継続しました。宣言解除後は営業時間を短縮した店舗が減少し、また、新規感染者数の減少に伴い商業施設や駅などの人出が増加した影響によってシニアのお客様を中心に来店客数が回復傾向となったため、売上収益は、前年同期に比べ717百万円増加しました。

<香港>

感染状況は落ち着いて推移したことにより、新店を含めた全店の来店客数は本感染症拡大前の水準まで回復しました。売上収益は、為替影響を含めて前年同期に比べ101百万円増加しました。

<シンガポール>

新規感染者の増加に伴い行政機関の防疫措置が継続されたため、来店客数は減少しましたが、円安の影響により、売上収益は、為替影響を含めて前年同期に比べ17百万円増加しました。

<台湾>

新規感染者の増加に伴い行政機関の防疫措置が継続されたため、来店客数は減少しましたが、円安の影響により、売上収益は、為替影響を含めて概ね前年同期並みでありました。

<アメリカ（ニューヨーク）>

新規感染者は継続して発生していたものの、行政機関の防疫措置が緩和されたこと等により、来店客数は回復しました。売上収益は、価格改定及び為替の影響を含めて前年同期に比べ46百万円増加しました。

売上原価は、前年同期に比べ124百万円減少し、8,136百万円となりました。主な増減内容は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

項目	増減額	主な増減理由
人件費	△72	人員の適正化に伴う店舗スタイリストの減少
業務委託料	66	委託店舗の売上収益の増加
消耗品費	△84	クシの再利用開始による仕入数の減少

販売費及び一般管理費は、前年同期に比べ66百万円減少し、1,256百万円となりました。主な増減内容は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

項目	増減額	主な増減理由
人件費	△50	社内ヘアカットスクール研修生及び本社人員の減少
求人費	△10	前四半期はテレビCMによる求人広告を実施

その他の営業収益は国内の雇用調整助成金収入等の計上があった前年同期に比べ629百万円減少し、41百万円となりました。また、その他の営業費用も前年同期に比べ6百万円減少し、21百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益は10,178百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は804百万円（同124.6%増）、税引前四半期利益は727百万円（同172.6%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は493百万円（同115.5%増）となりました。

店舗展開につきましては、16店舗出店いたしました。出店地域は、国内に13店舗、海外は香港に1店舗、台湾に1店舗、アメリカに1店舗であります。また、駅開発工事等により7店舗閉店したことから、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、前連結会計年度末より9店舗増加し、723店舗となりました。

なお、当社グループはヘアカット事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ648百万円増加し、6,289百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の増加273百万円、営業債権及びその他の債権の増加346百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ385百万円減少し、24,607百万円となりました。これは主として、有形固定資産の減少77百万円、使用権資産の減少361百万円等によるものであります。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ262百万円増加し、30,896百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ218百万円増加し、7,918百万円となりました。これは主として、リース負債の減少155百万円、未払法人所得税等の増加202百万円、その他の流動負債の増加112百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ537百万円減少し、12,240百万円となりました。これは主として、借入金の減少343百万円、リース負債の減少219百万円等によるものであります。その結果、負債は、前連結会計年度末に比べ318百万円減少し、20,158百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末に比べ581百万円増加し、10,737百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加493百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ273百万円増加し、4,875百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、2,036百万円（前年同期は2,050百万円の増加）となりました。これは主として、税引前四半期利益727百万円、減価償却費及び償却費1,590百万円の計上等に対し、営業債権及びその他の債権の増加額340百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は、226百万円（前年同期は281百万円の減少）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出170百万円、差入保証金の差入による支出44百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は、1,581百万円（前年同期は3,093百万円の減少）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出350百万円、リース負債の返済による支出1,295百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月期の業績予想に関しましては、2021年8月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,601	4,875
営業債権及びその他の債権	781	1,128
その他の金融資産	—	1
棚卸資産	104	95
未収法人所得税等	23	—
その他の流動資産	129	188
流動資産合計	5,641	6,289
非流動資産		
有形固定資産	1,502	1,425
使用権資産	5,313	4,951
のれん	15,430	15,430
無形資産	130	112
その他の金融資産	1,854	1,890
繰延税金資産	654	669
その他の非流動資産	107	127
非流動資産合計	24,992	24,607
資産合計	30,634	30,896
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	202	199
借入金	3,717	3,724
リース負債	2,350	2,194
未払法人所得税等	47	249
その他の金融負債	82	138
その他の流動負債	1,299	1,411
流動負債合計	7,699	7,918
非流動負債		
借入金	9,125	8,782
リース負債	3,016	2,796
その他の金融負債	91	90
繰延税金負債	15	30
引当金	514	529
その他の非流動負債	13	10
非流動負債合計	12,777	12,240
負債合計	20,477	20,158
資本		
資本金	1,245	1,264
資本剰余金	4,785	4,804
利益剰余金	4,129	4,622
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	△3	45
親会社の所有者に帰属する持分合計	10,156	10,737
資本合計	10,156	10,737
負債及び資本合計	30,634	30,896

（2）要約四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年7月1日 至 2020年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年7月1日 至 2021年12月31日）
売上収益	9,300	10,178
売上原価	△8,261	△8,136
売上総利益	1,039	2,042
その他の営業収益	670	41
販売費及び一般管理費	△1,323	△1,256
その他の営業費用	△27	△21
営業利益	358	804
金融収益	6	6
金融費用	△97	△84
税引前四半期利益	266	727
法人所得税費用	△37	△233
四半期利益	228	493
四半期利益の帰属 親会社の所有者 四半期利益	228	493
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	17.95	38.39
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	17.16	36.88

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	228	493
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△34	56
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△34	56
その他の包括利益合計	△34	56
四半期包括利益	194	550
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	194	550
四半期包括利益	194	550

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	新株 予約権	合計
2020年7月1日残高	1,214	4,754	3,885	△0	△179	110	△68
四半期利益	—	—	228	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△34	—	△34
四半期包括利益合計	—	—	228	—	△34	—	△34
新株の発行 (新株予約権の行使)	12	12	—	—	—	△6	△6
株式報酬費用	—	—	—	—	—	7	7
所有者との取引額合計	12	12	—	—	—	0	0
2020年12月31日残高	1,227	4,766	4,114	△0	△213	111	△102

(単位: 百万円)

	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2020年7月1日残高	9,786	9,786
四半期利益	228	228
その他の包括利益	△34	△34
四半期包括利益合計	194	194
新株の発行 (新株予約権の行使)	18	18
株式報酬費用	7	7
所有者との取引額合計	25	25
2020年12月31日残高	10,006	10,006

当第2四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	新株 予約権	合計
2021年7月1日残高	1,245	4,785	4,129	△0	△110	107	△3
四半期利益	—	—	493	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	56	—	56
四半期包括利益合計	—	—	493	—	56	—	56
新株の発行(新株予約権の行使)	19	19	—	—	—	△10	△10
株式報酬費用	—	—	—	—	—	2	2
所有者との取引額合計	19	19	—	—	—	△7	△7
2021年12月31日残高	1,264	4,804	4,622	△0	△53	99	45

(単位:百万円)

	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2021年7月1日残高	10,156	10,156
四半期利益	493	493
その他の包括利益	56	56
四半期包括利益合計	550	550
新株の発行(新株予約権の行使)	27	27
株式報酬費用	2	2
所有者との取引額合計	30	30
2021年12月31日残高	10,737	10,737

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	266	727
減価償却費及び償却費	1,639	1,590
減損損失	18	18
金融収益	△6	△6
金融費用	97	84
助成金収入	△648	△26
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△243	△340
棚卸資産の増減額 (△は増加)	30	11
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△51	△57
その他	205	137
小計	1,309	2,137
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△79	△65
助成金の受取額	593	26
法人所得税の還付額	271	—
法人所得税の支払額	△45	△61
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,050	2,036
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△254	△170
無形資産の取得による支出	△9	△6
差入保証金の差入による支出	△28	△44
差入保証金の回収による収入	13	16
その他	△2	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△281	△226
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,500	—
長期借入金の返済による支出	△350	△350
セール・アンド・リースバックによる収入	52	46
リース負債の返済による支出	△1,313	△1,295
新株予約権の行使による収入	18	18
配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,093	△1,581
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	45
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,355	273
現金及び現金同等物の期首残高	5,117	4,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,762	4,875

（6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定は、前連結会計年度の決算短信に記載の内容から変更はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、ヘアカット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり利益）

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益（百万円）	228	493
普通株式の期中平均株式数（株）	12,757,372	12,852,251
希薄化効果のある普通株式数		
ストック・オプションによる増加（株）	585,397	526,721
希薄化後普通株式の期中平均株式数（株）	13,342,769	13,378,972
基本的1株当たり四半期利益（円）	17.95	38.39
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	17.16	36.88

（重要な後発事象）

該当事項はありません。